

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月
国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

—

2. 学校概要

学校名 国際学院高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒362 - 0806
埼玉県北足立郡伊奈町小室 10474

E-mail : _____

Website : http://www.kgef.ac.jp/kghs

児童生徒数：男子 378 名 女子 309 名 合計 687 名
児童・生徒の年齢 16 歳～ 18 歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解) 世界遺産 平和・人権 (環境) 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 (食育) (伝統文化) その他 ()
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

別紙1参照

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ 海外研修の時間を活用 ）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

- 大変効果的な活動ができ、大変満足。
- 効果的な活動ができ、満足。
- 効果的な活動ができず、やや不満が残る。

どのように活動を学校のプログラムに盛り込んだか記載願います。

「海外研究」「人生と社会」の授業に盛り込んだ

今までの活動の中で、教育の質の向上に効果のあった活動がありましたら、記載願います。

海外研究により、生徒の異文化理解が深まった。

トルコ料理講習により、生徒の食文化に対する興味が深まった。

これらのことで、他者や社会とのかかわりを尊重できる個人を育む教育の向上に効果があった。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）
- CD-ROM
- 写真
- その他（ ドリームキャッチャー 研修・会議参加報告書等 ）

宅配便にて別送いたします。

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

■ 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

ESD アシストプロジェクトにおいて、ただ講義を聴くだけでなく体験的な授業を取り入れ、トルコ料理実習を行った。

異文化理解の一環として、カナダ先住民の方々とコミュニケーションを円滑に行えるよう、ドリームキャッチャーを一緒に制作した。

■ 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

海外研修（カナダ 1 週間）

語学研修（カナダ 17 日間）

国内研修（イングリッシュビレッジ 3 日間）

■ 他国の学校との交流や相互協力の実施。（交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。）

カナダ姉妹校 Vancouver Island University と Archbishop Carney Regional Secondary School との交流

マレーシアのユネスコスクール SEHOLAH SULTAN ALAM SHAH との交流

■ 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な 10 年を記念する取組の実施。（国際母語の日、国際天文年、識字の 10 年など）

AEC-NET 10 周年を記念するダブリンでの会議

「ESD の 10 年・世界の祭典」推進フォーラム主催のワークショップに参加